

講義名	対)自己発見とキャリア開発 A (K53:月火クラス)			
担当教員	石橋 明子 / 小村 志保美 / 西崎 奈央			
開講期・曜日・時限	前期 月曜日 1時限 / 前期 月曜日 2時限 / 前期 火曜日 1時限 /	授業形態	演習	
履修開始年次	1年生	単位数	8	備考

主題と概要

学部留学生として必要な基礎的かつ総合的な日本語力をつけることを目的とする。日本語の文字、語彙、聴解、会話等を中心に学び、日本語の文筆力およびコミュニケーション能力を高める。アクティブ・ラーニングを心がけたクラス活動を行うことを目指す。

到達目標

学部留学生が、基礎的かつ総合的な日本語力をつけ、日本語の文筆力、聴解力、およびコミュニケーション能力を高めることができる。併せて、ポートフォリオが作成できる文字力、聴解力等の日本語力を高めることができる。

学部留学生が、アクティブ・ラーニング等によるクラス活動を通じて、総合的な日本語能力を高める必要があることに気づくことができることを目標とする。

提出課題

予習、復習、ワークシート等、授業中にその都度指示する。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック

質問がある場合は、その都度、回答に応じる。

評価の基準

課題の提出、授業参加度等による総合評価を行う。

オンデマンド受講の場合は、課題の提出等によって総合的に評価を行う。

履修にあたっての注意・助言他

課題を完成させ、しっかりと提出することを望む。真面目かつ積極的な授業参加を望む。

また当授業はオンデマンドによる受講も可能である。オンデマンドによる受講者は担当教員より授業を視聴するためのURLが講義連絡で送られてくるので、確認すること。また、授業内で課題が指示されるので、確認の上、必ず提出すること。質問等がある場合は、メールなどで行う。

教科書

.使用しない。					

プリント資料及び参考文献

必要に応じてプリント資料を配布する。

授業計画

1 週目：コミュニケーションキャンプ
* 1 週目のうちの日（月）（火）or（水）（金）の 2 日間（各 1・2 時限）で、原則として、1 日目は、文字（1 時限）、聴解（2 時限）、2 日目は、語彙（1 時限）、会話（2 時限）を学習する。
文字、聴解、語彙、会話の内容は、以下に示す。
* 2 週目から 15 週目にかけての 14 週間は、自内容を変えて進めつつ、これらを繰り返す。

16 週目：ポートフォリオ作成

文字
・よく見る表示や文書などを使って、漢字と漢字で書くことを学習する。
・サイン、郵、電車、バス、レストラン、地図、病院、自動販売機、携帯電話、申込書、注文、メール、問診票、天気予報、求人広告等々の漢字について学ぶ。
・漢字クイズ、漢字ゲーム等も行う。

聴解
・間違いやすい発音や文法などの基本的な聞き取り練習をする。聞き取りのパターンについて学ぶ。日常生活でよく聞くいろいろな場面や内容に関する表現について学習する。
・発音、文法、会話表現、英語表現、即時応答、課題・ポイント・概要理解、町、天気予報、交通情報、学校、職場、病院、店、人や物のようす、場所・方向・位置、数字・計算、順序・比較等々の聴解について学ぶ。

語彙
・日常生活でよく使われ役に立つ語彙をトピックや使いかごに学習する。短い文や語句、イラスト等を使って効率よく学ぶ。
・キッチン・リビング、料理、掃除、洗濯、計画、電車、したく、買い物、食事、お金、学校、仕事、パソコン、メール、関係、あいさつ、体調、意味や形が似ている・くり返し・組み合わせのことは、意味がたぐいあがる動詞等々の語彙について学ぶ。

会話
・自己紹介、インタビュー、スピーチ、ディスカッション、ディベートetc. について実践的に学ぶ。

授業形態（アクティブ・ラーニング）

<input type="radio"/> ア：PBL（課題解決型学習）	<input type="radio"/> イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A・L 型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

事前に配布する資料を熟読し、課題や問題点をまとめたり、分からない言語や表現などがあつたら、意味や用法を調べておく...各授業2時間（計8時間程度）

各回で配布した資料を熟読し、理解が不十分だった点を確認する...各授業1時間程度（計4時間程度）

各回で提出された課題に取り組む...各授業1時間程度（計4時間程度）

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

留学生を対象とした科目群で、日本語の 4 技能（聞く、話す、読む、書く）について実用的かつ基礎的な語学力を修得するとともに、仲間と協同して、物事を成し遂げることができる人材を育成する科目である。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考

対面クラス受講の学生が一時的に通学が禁止となった場合は、担当教員から授業に関する説明とともに課題が出されるので、必ず提出すること。